

【アレルギー性真菌性鼻副鼻腔炎：AFRS】

欧米では慢性副鼻腔炎の5-10%がAFRSと報告されていますが、日本では本症の報告はほとんどありません。(8)
しかし、中山氏を始めとする5名の方達の報告では手術に至った慢性鼻副鼻腔炎48例中8.3%でAFRSが認められ、欧米と同等の頻度であったと報告しています。(9)
AFRSも1型および3型アレルギー機序の関与が示唆されているため、血液検査では、総IgE、抗アスペルギルス特異的IgEが重要になります。AFRSには、アスペルギルス属以外の真菌が原因となることもあります。(8)(9)(10)

アスペルギルスは重篤なアレルギー症状を引き起こす重要な真菌です。発育条件温度が20~45℃と広く、体内でも発育できる真菌です。主に喘息症状における原因抗原の検索にアスペルギルスをご留意ください。

【参考文献】

1. かびアレルギー（田中健治、鳥居新平訳）。学会出版センター（東京）、1988.
2. 足立満、井上洋西、田村弦、佐野靖之、大田健、中川武正、伊藤幸治、馬場研二、平田一人、東田有智、中島重徳、高橋清、浅井貞宏、宮本昭正。成人気管支喘息における感作アレルギーの全国調査。アレルギー・免疫2006；13：548-54.
3. 深在性真菌症の診断・治療ガイドライン。協和企画（東京）、2007.
4. 田代隆良。肺アスペルギルス症の病態と呼吸器検体より分離されるAspergillus属の臨床的意義。日臨床微生物学会誌2009；19：67-75.
5. 掛屋弘、今村圭文、宮崎泰可、泉川公一、山本善裕、田代隆良、河野茂。慢性真菌感染症、最近の知見。感染症誌2011；85：333-9.
6. 安枝浩、竹内保雄。真菌アレルギー。日医真菌会誌2004；45：71-6.
7. 福富友馬、谷本英則、斎藤明美、谷口正実。ABPAの診断。アレルギー2014；63：403（抄録）.
8. 間島雄一。アレルギー性副鼻腔真菌症。アレルギー科2002；13：159-63.
9. 中山次久、小森学、高柳博久、米本友明、松脇由典。アレルギー性真菌性鼻副鼻腔炎（AFRS）の検討。耳展2008；51：82-91.
10. 本邦初のBipolaris spiciferaによるアレルギー性真菌性副鼻腔炎。日医真菌会誌2004；45：239-45.

2

Pro-GRP

肺癌は日本人における癌死の第一位であり、発症率は50歳以上で急激に増加します。日本人が生涯のうちに肺癌になる割合は、男性7.4%、女性3.1%です。

肺癌は小細胞癌と非小細胞癌に、更に非小細胞癌は腺癌・扁平上皮癌・大細胞癌に分類され、小細胞癌は全体の10~15%、非小細胞癌は85~90%を占めます。

肺癌診療において、腫瘍マーカーは、肺癌の質的診断の補助や治療効果の判定などに用いられます。組織型の違いにより腫瘍マーカーの検出感度に差があり、小細胞癌にはProGRP・NSE、腺癌にはCEA・SLX、扁平上皮癌にはCYFRA・SCC抗原が有用です。（下表参照）

<http://www.keihin.gr.jp/image/kml-pdf/progrp2020-01.pdf>

弊社では、ProGRPを2019年10月から内製化しており、2~3日でご報告できるようになりました。小細胞癌は転移しやすく予後不良のことが多い癌です。小細胞癌に特異性が高く比較的早期から検出できるProGRPを肺癌診療にお役立てください。

参考文献 肺癌診療ガイドライン2019
ProGRP関連資料 ロシュダイアグノスティクス株式会社
Jpn J Cancer Chemother Vol. 31, NO. 10, 2004より抜粋

[3] KMLインフォメーション 11月～1月分のお知らせ

前回メールニュースを配信しました後から現在までに発行された「KMLインフォメーション」についてお知らせ致します。

各インフォメーションにつきましては、医院様へ随时お届けしておりますが、ご確認などに活用していただければ幸いです。

2019年12月13日 年末年始業務日程のご案内
https://www.kml-net.co.jp/information/pdf/2019-1213_01.pdf

2019年12月13日 新基幹システム稼働のお知らせ
https://www.kml-net.co.jp/information/pdf/2019-1213_02.pdf

2019年12月17日 新基幹システム稼働による検査内容変更のお知らせ
<https://www.kml-net.co.jp/information/pdf/2019-1217.pdf>

■■□=====



最後までお読みいただきまして有り難う御座いました。

編集／発行 <https://www.kml-net.co.jp/>
株式会社 京浜予防医学研究所
〒216-0001 神奈川県川崎市宮前区野川 1432-1

=====□■